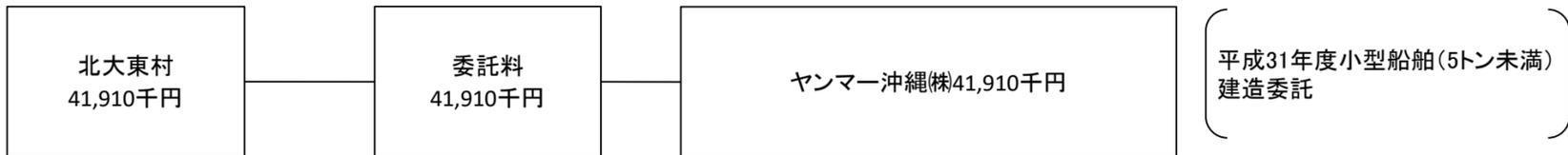


市町村名	北大東村						
令和元年度沖縄離島活性化推進事業費補助金検証シート							
事業名	水産業振興拡大事業	事業類型	<input checked="" type="checkbox"/> 産業振興 <input checked="" type="checkbox"/> 定住促進 <input type="checkbox"/> その他				
担当部課名	経済課	事業実施(予定)年度	平成29年度～令和3年度				
事業内容	水産業の振興を図るため、大型船舶の導入を行い水産業の担い手を増加させる。						
先導性に係る取組	<input checked="" type="checkbox"/> 自立性 <input type="checkbox"/> 官民協働	<input checked="" type="checkbox"/> 政策間連携 <input type="checkbox"/> 事業推進主体の形成	<input type="checkbox"/> 離島活性化を担う人材の確保・育成 <input type="checkbox"/> その他				
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和2年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「補助金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H29年度(繰越)	H30年度	H30年度(繰越)	R1年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	45,145	-	196,000	-	42,000
		(b) 予算現額	45,145	-	196,000	-	42,000
		(c) 増減額(b-a)	0	-	0	-	0
		(d) 繰越額	-	45,145	-	196,000	-
		A. 計(b+d)	45,145	45,145	196,000	196,000	42,000
	B. 執行済額		0	44,464	0	177,147	41,910
	うち補助金充当額		0	35,571	0	141,717	33,528
	次年度繰越額		45,145	-	196,000	-	-
	執行率(%) (B/A)		0.0%	98.5%	0.0%	90.4%	99.8%
予算の状況の説明		当初の計画どおり建造委託を行い、事業は適正に執行できた。不用額90千円については、委託の入札残によるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	H30年度(繰越)	R1年度	
	大型船舶の整備		目標 (1隻)	(1隻)	(-)	(1隻)	
			実績	1隻	-	1隻	
	新規漁業従事者受入住宅建設		目標 (基本・実施設計の完了)	(1棟)	(-)	(-)	
		実績	基本・実施設計の完了	1棟	-		
達成状況説明	○当初の計画通り船舶を1隻整備し、令和2年3月に納品した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	成果目標(指標)		基準値(H29年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(R2年度)
	漁獲量の増加		目標	(33.3トン)	(43.1トン)	(60トン)	(60トン)
			実績	28.5トン	26.3トン	53.2トン	-
	成果目標(指標)		基準値(H29年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(R3年度)
	水産業担い手の増加		目標	(-)	(-)	(-)	(4世帯)
			実績	0世帯	2世帯	3世帯	-
進捗状況説明	○漁獲量の増加を成果目標とし、令和元年度は43.1トン为目标としており、漁獲量が53.2トンと目標より10.1トン高くなった。 ○水産業担い手の増加を成果目標とし、令和5年度までに4世帯の増加を目指しており、令和元年度は1世帯の増加の計3世帯となった。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)	
取組の検証	○「漁獲量の増加」 ・H31年2月に南大東漁港北大東地区が開港したことにより島民が週末に漁を行うようになった。 ・大型船舶の導入により専業で漁業に従事する人が増えた。	○「漁獲量の増加」 ・新規従事者や週末漁師等に効率的な漁業の指導が必要。	
	○「水産業担い手の増加」 ・水産業に従事する方の高齢化が進んでいることが課題となった。	○「水産業担い手の増加」 ・若年層の担い手を増やすことが必要。	
今後の取り組み方針			
○「漁獲量の増加」 ・先輩従事者の指導の下、新規従事者や週末漁師等のパヤオでの効率的な漁獲方法を伝授してもらい全体漁獲量の増加を図る。			
○「水産業担い手の増加」 ・漁師や捌き人といった、水産業の担い手育成を早急に行う。			

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	補助対象事業費	補助金充当額	市町村負担金	補助対象外経費
41,910	41,910	33,528	8,382	0



資金の流れ、費目・用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	建造委託料についてはプロポーザル形式を行っており妥当と考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	予算の積算については、3社見積りにより行った。不用額は事業費の1%以内であり、適正な規模であったと考えられる。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	-
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	費用、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。